

V. その他

1. 周辺技術動向等

フェーズⅠ～フェーズⅡの取り組みについて、研究テーマ毎の事業化に向けたロードマップを示す。

なお、B-3のテーマはフェーズⅡまでは研究シーズの蓄積が主要であることから除いた。

A 生物資源を利用した有用物質の生産技術開発

A-1 海藻類の機能性物質の生産技術開発

○海藻類（フコキサンチン）の機能性物質の生産技術開発 p. 147

A-2 食用植物資源の新規利用法および加工技術の開発

A-2a ○ムラサキイモ色素の調整と利用開発 p. 148

A-2b ○カメリア属（ヤブツバキ）に含まれる有用物質開発 p. 149

A-2c ○ヤエヤマアオキ果実発酵飲料の調製 p. 150

B 生物資源に含まれる有用物質の機能解析

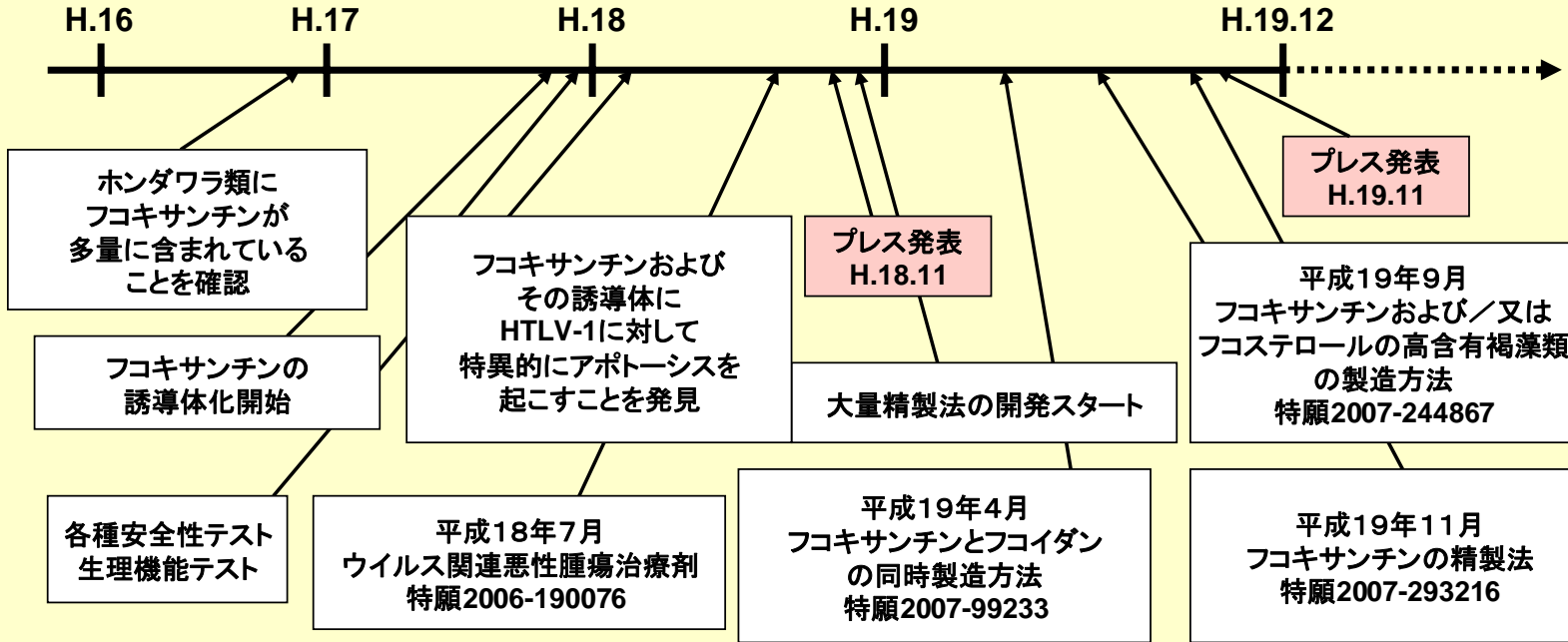
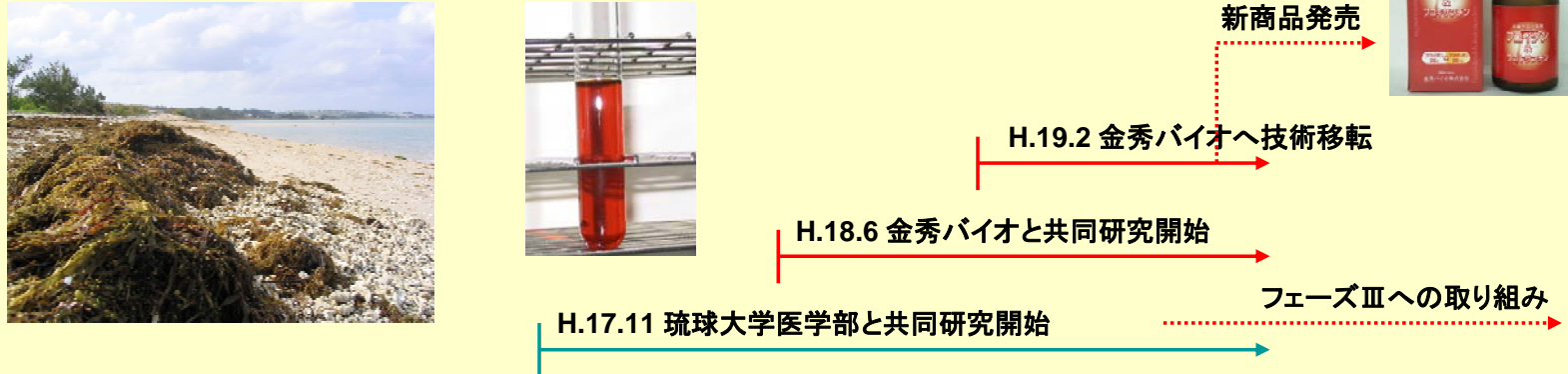
B-1 沖縄産有用生化学資源の探索と生産技術の開発

○底生渦鞭毛藻の培養による生理活性物質生産及び医薬品開発のリード化合物、生化学試薬の開発 p. 151

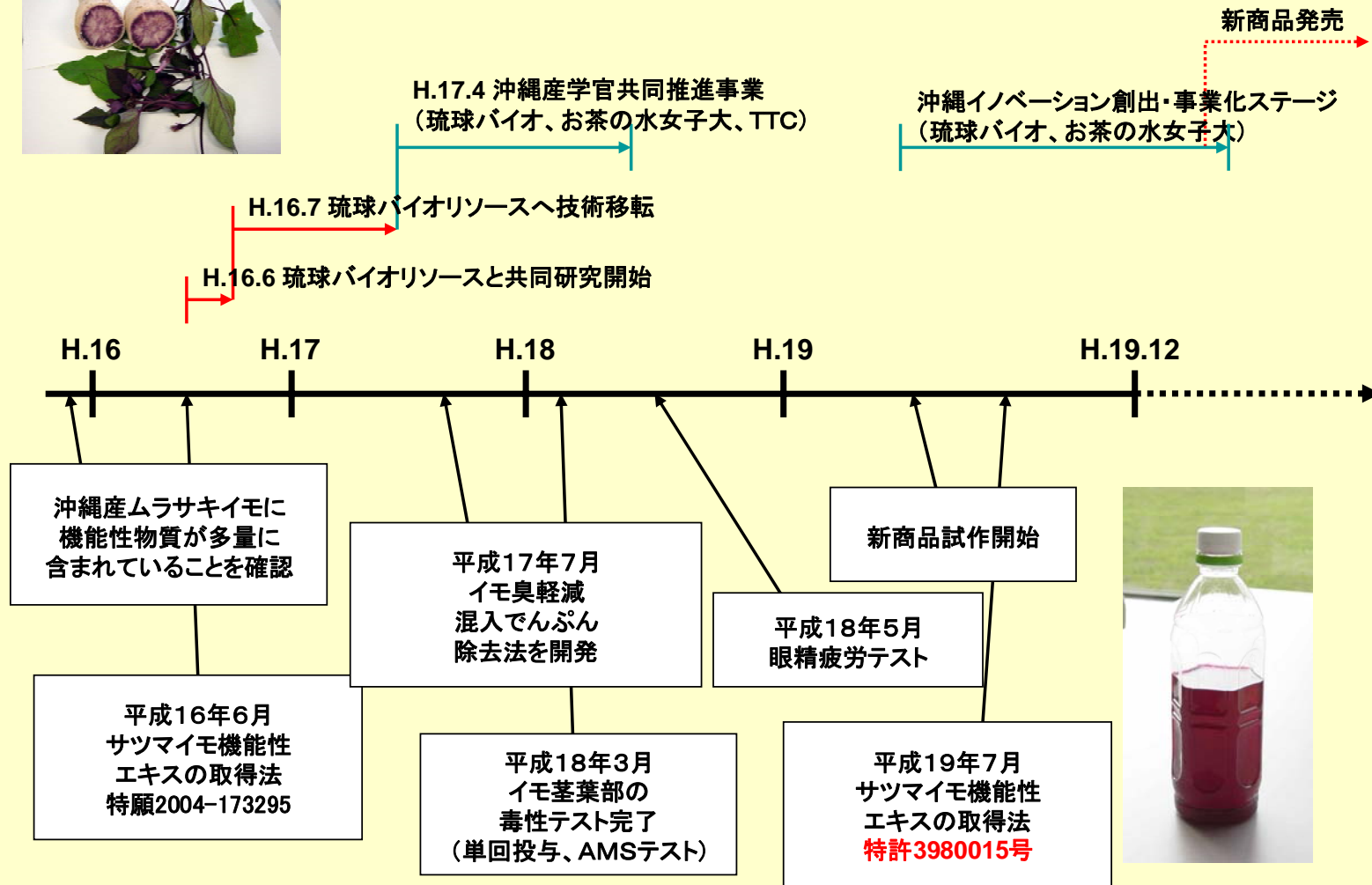
B-2 遺伝子資源の有効利用

○タンパク質脱リン酸化酵素（PP2A）の大量生産と利用開発 p. 152

A-1 海藻類(フコキサンチン)の機能性物質の生産技術開発



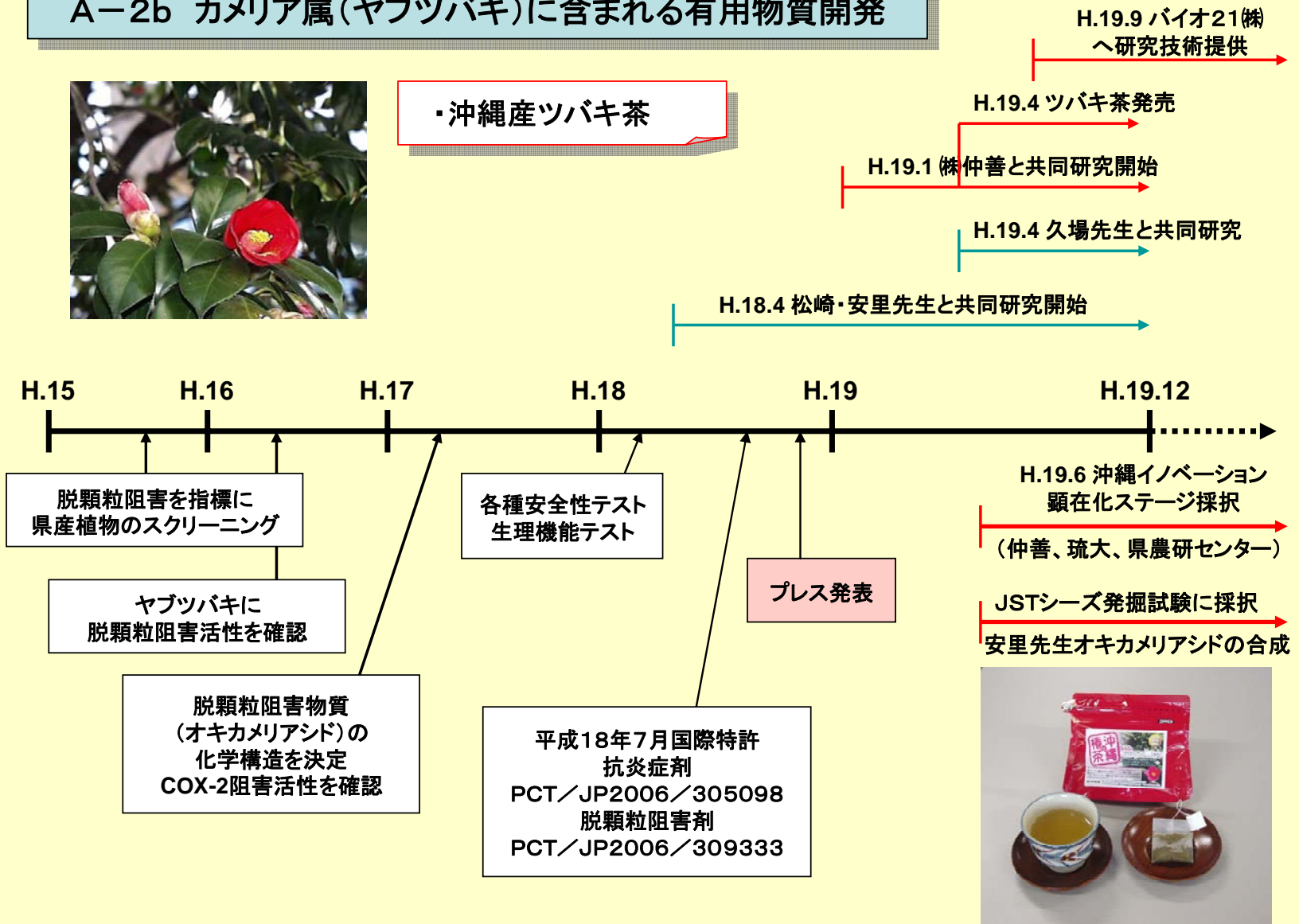
A-2a ムラサキイモ色素の調製と利用開発



A-2b カメリア属(ヤブツバキ)に含まれる有用物質開発

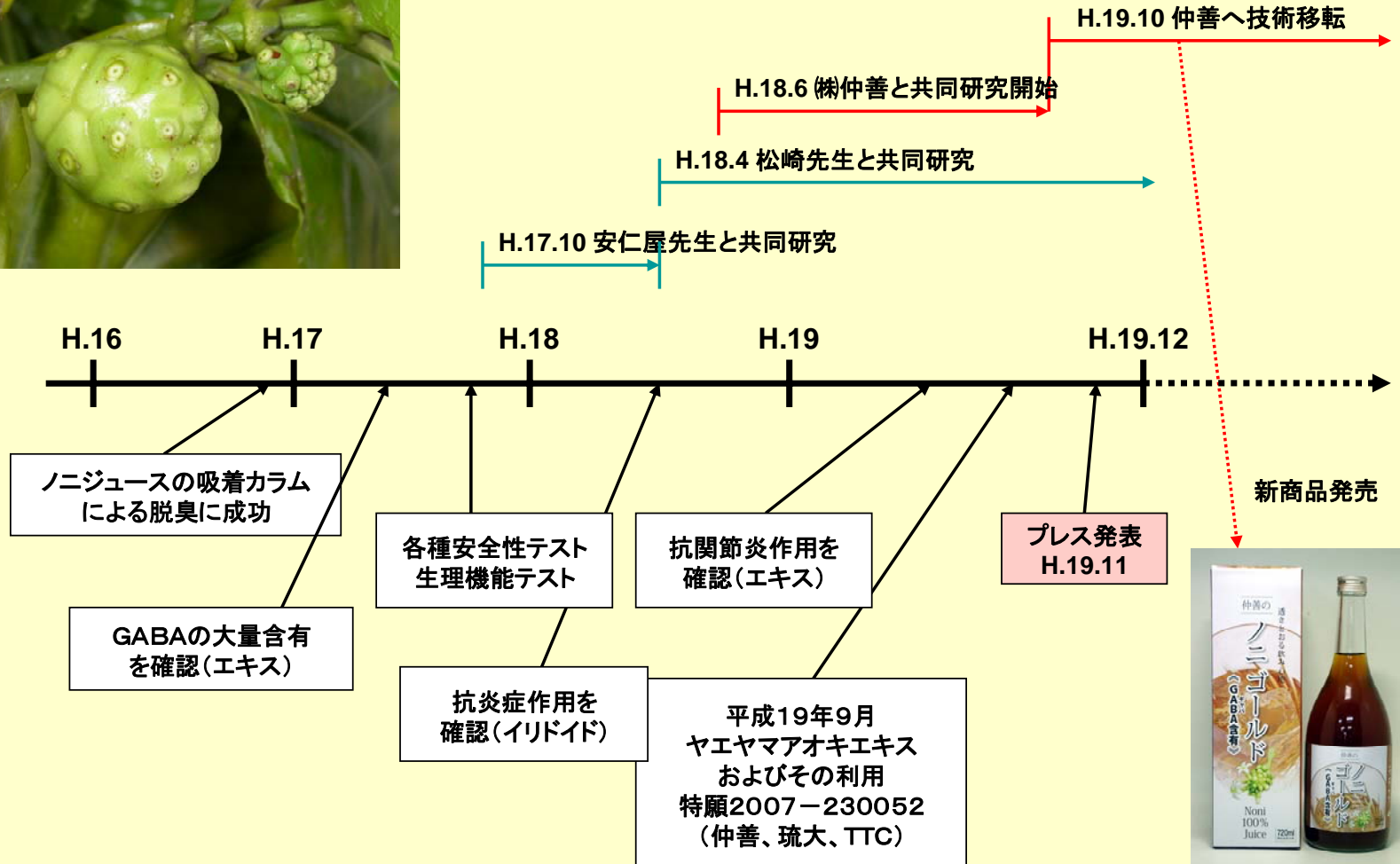


・沖縄産ツバキ茶



A-2c ヤヤマアオキ果実発酵飲料の調製

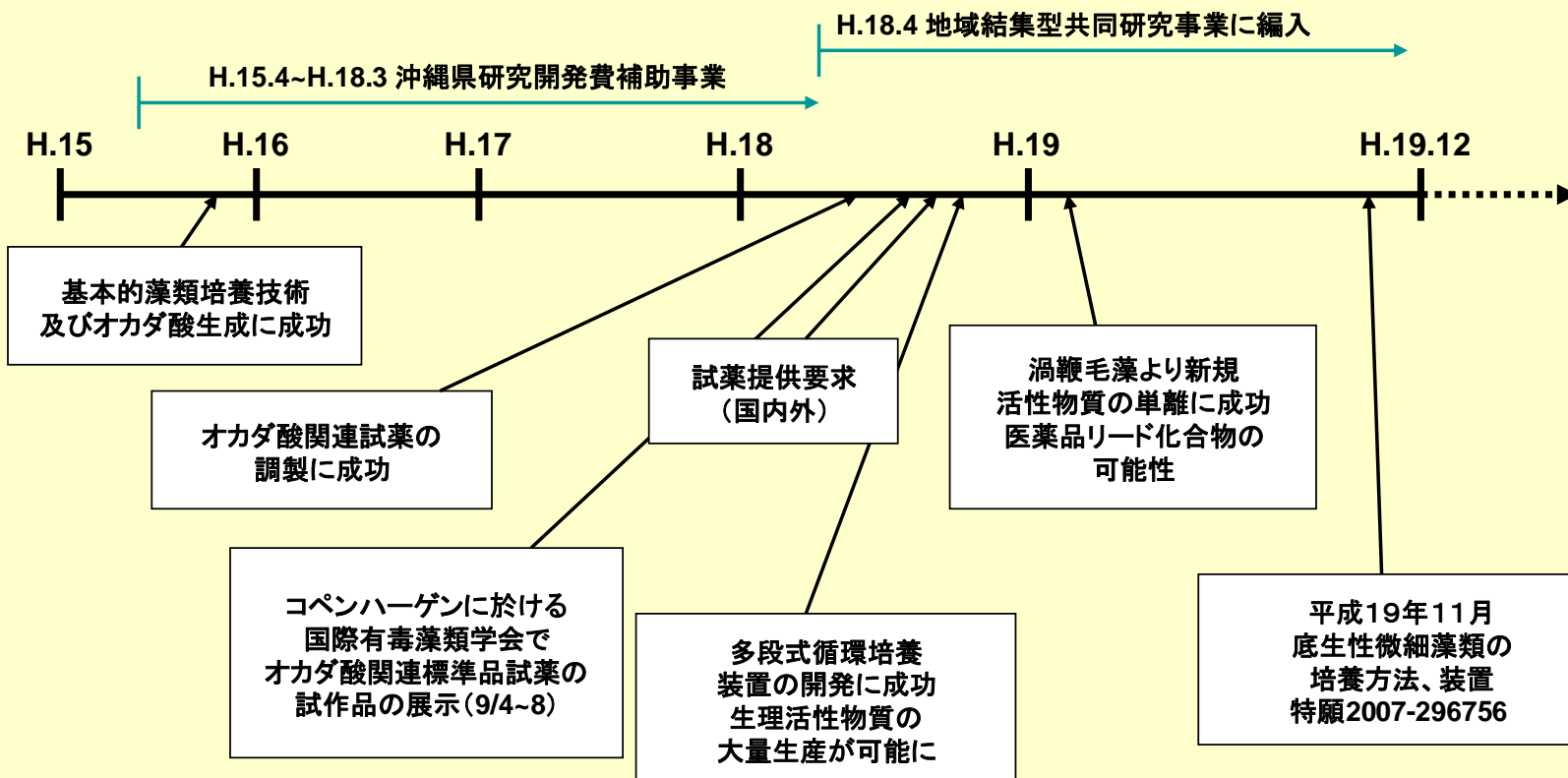
・現行商品の高付加価値化



B-1 底生渦鞭毛藻の培養による生理活性物質生産 及び医薬品開発のリード化合物、生化学試薬の開発



フェーズⅢへの取り組み



B-2 タンパク質脱リン酸化酵素(PP2A)の大量生産と利用開発

